

登録コード	SD402100	開講年度	2026				
授業題目	地質学序説					担当教員	山田 桂 他
英文授業名	Elementary Geology					副担当	吉田 孝紀・森 宏
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学年	1年
講義室	理学部第12講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ						
	【2023年度以降がキレム対象】理学の各分野における専門知識				⇔	地質学に関する基礎的な事項を理解することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	これまでの地球環境の変遷を知るための地球科学の役割を知るために、研究例を噛みくだいて紹介する。また、防災・自然利用・新たな地球観の啓蒙などの社会における活動と、地球科学との関連について、現場の姿を紹介しながら講義を進める。さらに、地質学の情報の特徴と扱い方についても学ぶ。						
(5)授業のキーワード	プレートテクトニクス, 地質図, 化石, データ処理						
(6)授業計画	第1回：プレートテクトニクスと地球環境（吉田） 第2回：地質図の仕組みと役割（吉田） 第3回：松本周辺の地質（吉田） 第4回：地質学と社会・教育の接点（吉田） 第5回：社会基盤としての地質学（吉田） 第6回：地球の概要（山田桂） 第7回：生命の誕生と地球環境（山田桂） 第8回：古生代の生物進化（山田桂） 第9回：中生代以降の生物進化（山田桂） 第10回：ジオパークと地球環境の未来（山田桂） 第11回：地質学的な数値データの特質と収集（森） 第12回：数値データの処理（森） 第13回：数値データの解析（森） 第14回：数値データの表現（森） 第15回：数値データと統計処理（森） 期末試験, 授業アンケート						
(7)成績評価の方法	期末試験を行う。						
(8)成績評価の基準	なお、この授業は専門科目への導入なので、目標の何割でS,A,B,C,Dといった成績の目安は設定しないが、2年次の専門科目への橋渡しが可能と判断できる成績を合格最低点Cとし、おおよそ専門科目へ進む準備ができたと思なせる点数をB, 専門科目への準備が問題なく整ったと思なせる点数をA, そして、専門科目への準備となる基礎知識と思考が完全に身についたと思なせる点数をSとする。						
(9)事前事後学習の内容	eALPSや配布された資料を使って、復習をして基礎知識を確実なものとする。また、地質学序説実習のレポート課題にも、授業内容を十分に反映させること。実習のレポートは地質学序説実習の成績になるが、レポートを書くときに序説の授業の復習をすることで、期末試験に備えることにもなるので留意すること。						
(10)履修上の注意	地質学序説実習と連続しておこない、授業と実習が相互に関連、補完しているので、地質学序説実習を取らずこの科目だけの履修はできない。また、（4）で示した授業内容は地質学序説実習とリンクしているので、天候などの理由で適宜内容の順序が変わることに留意して、掲示やプリントで授業内容を確認すること。						
(11)質問,相談への対応	授業時間後や空いている時間に研究室で対応します。 担当教員の研究室は、理学部C棟の次の通り。 山田：C405 森：C407 吉田：C409						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						